

1.ダブルスクリーンワーキンググループ(WG)の主な活動

- ・ **活動の狙い**P2に抜粋編を記載

2.本WGで検討するダブルスクリーンサービスの定義

- ・ 本WGで検討するダブルスクリーンサービスの全体イメージ
- ・ 検討にあたっての前提条件

3.想定されるサービスイメージ

- ・ **サービスイメージ例**P3～4に抜粋編を記載

4.技術に関する課題と解決方策

- ・ 想定するシステム構成
- ・ コンテンツの容量や種類の整理
- ・ 帯域運用モデル
- ・ IPDC受信ルータからタブレットへの関連コンテンツの転送方式
- ・ メインストリーム(映像・音声番組)と関連コンテンツの同期
- ・ その他の検討課題
- ・ 国内メーカー/サービス/技術等の動向

5.利用環境面に関する課題と対策案

- ・ 著作権に関する課題
- ・ 放送と通信の併用に伴う責任の所在についての基本的な考え方
- ・ サービス主体とサービス責任に関連する問題
- ・ タブレット側コンテンツに関する倫理規定

ドキュメントの全編は会員様のための公開となっております。ご了承ください。

現在、視聴者の間でテレビ番組(メインストリーム)を視聴しながら、携帯電話やスマートフォン、タブレット、PCなど様々なデバイスを用いて、番組に関連する内容について知人とメールでやりとりをしたり、twitterなどのSNSサイトでコミュニケーションを楽しむような、メインストリームに併せてバックチャンネルも楽しむ、新しい視聴スタイルがすでに浸透しつつある。

一方、米国で開かれた国際家電ショー(CESショー)や全米放送機器展(NABショー)では、コンテンツを軸に、テレビジョンとタブレットデバイスで利用するダブルスクリーン型サービスが取り上げられるようになっている。

そこで本WGは、IPDCのユースケースの一つとして、番組(メインストリーム)と、それに精緻に同期する関連情報を、IPDC技術を用いて配信するダブルスクリーン型のサービスを実現するため、

- ① 課題の抽出
- ② それらに対する解決策の整理
- ③ 標準化が望まれる項目

などについて取り纏める。

なお、今回は番組(メインストリーム)を主軸とするサービスが検討対象であるため、

- ・ タイミング管理はメインストリームに準じる
- ・ 複数のメインストリームが並列でサービスされる場合の乗り換え(ザッピング)を意識する
- ・ 放送波の伝送容量は有限であり、かつその多くはメインストリームで使用するため、IPDCで配信できる関連情報のサイズは有限である

などに留意しながら、検討を進めることとする。

たとえばテレビショッピングの場合のサービスイメージ例は次頁図2のとおり。

テレビジョンにテレビショッピング番組(メインストリーム)が放送されている傍らで、視聴者の手元のタブレットには、サイズ別価格表(関連コンテンツ)や、商品の理解を一層深めさせるリッチな動画(フォローコンテンツ)がタイミングコントロールされながら表示される。

尚、このうち前者は関連コンテンツそのものがIPDCで配信され、後者はIPDCで送られる制御情報によってWebサーバからインターネット経由でタブレットにダウンロードされたものである。また視聴者はタブレットから直接購入手続きをすることができる。

調査本編

- 本書の目的
- 用語
- 米国放送業界における事業者の構図
 - ・ 本章の位置づけ
 - ・ 従来の事業者相関図
 - ・ 今後予想される事業者相関図
- ダブルスクリーンに関する各種動向
 - ・ 本章の位置づけ
 - ・ ダブルスクリーンの定義
 - ・ コンパニオン・アプリの普及
 - ・ 動画視聴をめぐる権利問題
 - ・ スマートTVもダブルスクリーンへ
 - ・ CATV事業者にとっての優位性
 - ・ CATV業界では加入者離れの阻止には至らず
 - ・ STBベンダーの動向
 - ・ 現在、コンパニオンスクリーンに求められる機能
 - ・ スクリーン同期技術
 - ・ コンテンツ発見のためのソーシャル機能
 - ・ ソーシャルTVベンダーの動向
- 今後の展望
 - ・ 本章の位置づけ
 - ・ プラットフォーム化の進展
 - ・ メディア測定技術との統合
 - ・ テレビ広告の復権
- 我が国における課題と今後の方向性
 - ・ 本章の位置づけ
 - ・ パラダイムシフトであるという認識
 - ・ 参考になる欧州の調整型スキーム
 - ・ 突破口としてのプラットフォーマー
- 参考文献等

事例編

- 欧米における動向の概要
- 欧米における「ダブルスクリーン」の事例
 - ・ サービスプロバイダーの取り組み
 - ・ OTT (Over The Top) 系サービスプロバイダの取り組み
 - ・ コンテンツプロバイダーの取り組み
 - ・ IPG (Interactive Program Guide) ベンダーの取り組み
 - ・ STB / ホームシアターベンダーの取り組み
 - ・ スマートTV / コネクテッドTVベンダーの取り組み
 - ・ 同期技術ベンダーの取り組み
 - ・ ソーシャルTVサービス・ベンダーの取り組み